



学校だより

〈学校教育目標〉自ら学び たくましく 心豊かな子



横浜市立長津田小学校

9月号【第649号】

令和8年8月27日

校長 佐藤 正淳

地域と歩む未来、挑戦が拓く明日

学校だより 9月号の発行にあたり、この夏に発生した「令和8年熊本地震」および「令和8年8月千葉豪雨」により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と平穏な日常の回復を深くお祈り申し上げます。

さて、長い夏休みが終わりました。実りの秋、子どもたちが安心して充実した学校生活を送れるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。「共育・共創」の視点を大切に、前期後半もご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



地域とともに紡ぐ子どもたちの未来



この夏、私は地域が一つになる熱気と、伝統が紡ぐ温かな力に触れる機会に恵まれました。生まれ故郷の福島で自ら踊りの輪に入り汗を流した「いわき踊り」、街中に歓声が響き渡り熱気に包まれた東京三大祭りの「深川八幡祭り」、そして長津田の夏祭りです。

太鼓の重厚な響きの中、地域を支える大人たちの誇らしい背中と、その傍らで目を輝かせる子どもたちの姿がありました。

世代を超えて伝統を守り継ぐ地域の姿は、子どもたちに「自分もこの街の一員だ」という強い安心感と愛着を育みます。大人たちの真剣な姿勢に触れ、未来の街を担う主人公としての芽が確かに育っていくのです。子どもたちの「原風景」となる温かな体験を、これからも学校・家庭・地域が手を携えて創ってまいりましょう。



子どもたちの原風景へ



「少し背伸びした目標」で拓く明日



毎年恒例としている「夏休み校長チャレンジ」！ 毎年ランニングネタで設定してきているのですが、今年は6年生が修学旅行で訪れた日光東照宮までの距離(187 キロ)を、夏休み中に走り抜く目標としました。今年の別の意味でチャレンジした「自作アプリ(右参照)」に支えられながら、無事に走りきることができました。

目標設定で大切なのは、「少し背伸びした挑戦」です。高すぎる目標ではなく、「頑張れば届きそうな目標」こそがやる気を継続させ、人を大きく成長させていると思います。また、私は中学生の頃から「有言実行」をモットーにしています。今回も、みんなの前で宣言し、自らに適度なプレッシャーをかけ日々のマインドセットにつなげました。そして達成した瞬間には、自分に拍手！！自ら自己肯定感を高めています(笑)。

子どもたちが「少し背伸びした目標」を自分の言葉で掲げ、達成する喜びを味わえるよう、こらからも温かく背中を押してまいります。



おまけの話 ～59歳の息子と91歳の母～

この夏も実家の福島に帰省しました。91歳の母は、私が出かけるときに必ず「忘れ物はない？」「水は持った？」と声をかけてきます。「大丈夫だよ」と笑って答えつつ、59歳になった今も母にとっては大切な「我が子」なのだと実感します。それと同時に、自分を気にかけてくれる親のありがたみを感じ、あと何回こんな声かけをしてもらえるのだろうか、しみりとした感慨にふける夏となりました。